

# 北海道自家用新聞

発行所

北海道自家用自動車協会連合会  
編集兼発行人 辻 澤 英 隆  
札幌市東区北三ノ東一(郵便番号 065-0800)  
電話 (011)721-4578

## インバウンド向けに冬季レンタカー利用の事故防止に注力

北海道警察、北海道地区連盟(JAF)と連携し、新千歳空港を拠点に日本の交通ルールや積雪路を運転する際のシミュレーションを体験してもらうほか、チラシによる啓発も行った。来日客向けの冬道の運転体験は初の試みとなる。

北海道運輸局は、海外からの旅行者が冬季にレンタカーを使用する際の事故防止のための取り組みを本格化する。北海道警察、北海道地区連盟(JAF)と連携し、新千歳空港を拠点に日本の交通ルールや積雪路を運転する際のシミュレーションを体験してもらうほか、チラシによる啓発も行った。来日客向けの冬道の運転体験は初の試みとなる。

今回の施策の背景には、インバウンドとそれに伴うレンタカー需要の活性化、外国人運転者による死亡・重傷事故の件数増加がある。道内における外国人へのレンタカー貸出し実績は2025年1〜10月で13万件超となり、すでに前年1年間の件数を6.5%上回っている。夏と冬シーズンに利用件数が増加する傾向にあり、25年1、2月はそれぞれ、前年からの5割以上の大きな伸びを示した。

## 交通安全啓発品を寄贈

北海道自家用自動車協会連合会(竹内蔵会長)は、北海道交通安全推進委員会(会長 眞弓明彦北海道電力名誉顧問)にシトルトカー1100個を寄贈した。交通事故防止支援事業の一環で、交通安全啓発品として役立ててもらおう。

1月27日に北海道電力(札幌市中央区)で行われた贈呈式で、竹内会長が眞弓会長に目録を手渡し、感謝状を受け取った。眞弓会長は「このようなものを提供いただくとわれわれの啓発活動に弾みがつく。有効に活用させていただく」と謝辞を述べた。



竹内蔵会長(左から2人目)と眞弓明彦会長(中央)



## 北海道運輸局、3月に新庁舎へ移転

北海道運輸局は、3月23日に新庁舎に移転することを発表した。業務集約による効率化や防災機能の強化を目的とし、現在、建設の進む札幌第4合同庁舎東館に転居する。現在の庁舎での業務は、3月19日までとなる。

新庁舎では6階に鉄道部や自動車技術安全部など、8階に交通政策部直近の国・地域別の利用者データでは、道内への直行便が運航される台湾と韓国、香港で全体の約6割を占める。本格的な降雪が少ない地域からの利用者が多く、雪道運転の経験が乏しいドライバーも多いことが見込まれる。

## 高齢者の交通事故防止へ新たな安全対策

国土交通省は、高齢者の交通事故防止に向けた取り組みを全国10区間で先行して実施する。人感センサー付きのライトや、歩行者を2回に分けて横断させる「二段階横断施設」などを設置する。2026年度以降に先行地域での整備を始め、その結果を踏まえ、他の地域にも展開していく方針だ。

国土交通省は、高齢者の交通事故防止に向けた取り組みを全国10区間で先行して実施する。人感センサー付きのライトや、歩行者を2回に分けて横断させる「二段階横断施設」などを設置する。2026年度以降に先行地域での整備を始め、その結果を踏まえ、他の地域にも展開していく方針だ。国交省によると、高齢者の死亡事故の約5割は歩行中に発生している。

## 政府、AIベース自動運転を踏まえたロードマップ策定

政府は、自動運転技術の開発が「ルールベース」から「人工知能(AI)ベース」に移行していることを踏まえ、乗用車やトラック、バスなど用途別の自動運転車の実用化や市場拡大の時期を示すロードマップを策定する。中長期的な見通しを示すことで、車面やシステムを開発するメーカーなど供給側にとりまらず、自動運転を導入する自治体や物流事業者といった需要側の投資も促す。3月をめどに有識者会合で案をまとめ、今夏の政府成長戦略に示す。

日本成長戦略会議が重点投資対象とする17分野のうち、赤澤亮正経済産業相と松本尚デジタル相を座長とする「デジタル・サイバーセキュリティ」ワーキンググループの初回会合が行われ、「準公共分野」の検討事項の一つに自動運転が挙げられた。政府は「デジタル田園都市国家構想総合戦略(2023年改訂)」で、地域限定型の無人自動運転サービスを27年度までに100カ所以上

や自動車交通が入る。公共交通機関は、札幌市営地下鉄東西線・西18丁目駅3番出口が最寄りとなる。代表や各部門の電話番号は変更しない。新庁舎の所在地は、札幌市中央区北2条西19丁目8番札幌第4合同庁舎東館。部などに設置し、2回に分けて歩行者を横断させる施設なども整備する。横断歩道以外での横断を行わないよう誘導する路面標示や看板なども併せて設置する。北海道では暮別町町道の国道236号に「センサー付きスポットライト」が設置される予定。先行地域での結果を踏まえ、他の事故多発地域などに展開する。

## 録

国土交通省 物流・自動車局 石原大局長  
「昨年末の税制改正議論で、乗用EVへの課税の方針や環境性能割廃止などの方向性が決まった。事業用車面に関しては、今年以降に議論していくことになる」

「環境性能に優れ、安全な車を普及させていく必要がある。事業用では公共性の観点から『営目格差』も引き続き求めていく。このスタンスは堅持する。持続可能な公共交通を維持できるような税体系にしていきたい」(年末に予定する車体課税の改正議論について)

し、(1)2030年の短期及び2040年の中期に目指すべき姿、(2)実現に向けた政策の方向性、についてまとめる。松本デジタル相は「デジタル・サイバーセキュリティは、あらゆる産業や社会活動を支える基盤となる。ここでの議論が他の成長戦略全体を支えるものといっても過言ではない」と語った。

## 飲酒運転根絶！高校生メッセージ

(令和7年コンクール入賞作品から/北海道交通安全推進委員会)

(北海道警察本部長賞)

その一杯ですべてが終わる。今まで楽しかったこと。これからやりたかったことすべてその一杯できなくなる。後悔する前に自分で気づこう。後悔する前に周りの人に声をかけよう。飲酒運転は自分だけでなく周りもまきこむ。stop 飲酒運転。(札幌真栄高校1年 中野 颯太 さん)



# 雪道での自動運転実現へ

## 千歳市でレベル2搭載バスの実証実験を実施

NTTドコモビジネスを代表機関とするコンソーシアムなどは、北海道千歳市で自動運転バスの実証実験を行った。降雪・積雪環境下での走行制御や大容量データ伝送に必要な技術を検証した。

実証実験は、NTTドコモビジネスとA Drive、ドコモ・テクノロジ、スタンレー電気で構成するコンソーシアムと、協力機関の千歳市と公立千歳科学技術大学、アイサントクノロジ、東海理化、スマートモビリティインフラ技術研究組合が共同で1月14〜24日に実施した。実証場所は、千歳市役所周辺とJR千歳駅、新千歳空港、美々地区(千歳科学技術大学、ラピダス付近)。いすゞ「エルガ」にLiDAR(ライダー)、レーザースキャナー(8台とカメラ19台などを装着し、自動運転レベル2(高度な運転支援)相当で走行した。



千歳市での自動運転の実証車両

今回の目的は、豪雪・寒冷地で自動運転バスを安全かつ安定的に走行させるための先端通信技術と運行制御技術の有効性の検証。特に積雪や気象条件の急変などの場合でも安定した自動運転を継続するため、通信の安定性確保と路車協調データの観点から実証した。路側機に設置したカメラ映像やライダーの点群情報から検知・分析した道路状況を基に、安全走行情報を自動運転バスに連携することで豪雪地域での自動運転の実現を目指した。

道路灯や電柱に設置したカメラやライダーで道路の積雪状態を監視し、自動運転車両の安全な走行の可否を判断。カメラやライダーが取得した大容量データは、「IOWN APN(アイオン・オールフォトニクスネットワーク)」や高度「WiGig(ワイギグ)」など次世代通信システムによりクラウド基盤に送った後、自動運転バスが安全に走行できるかを判断するための情報に加工・処理した。

自動運転バスには走行可能なルート情報を伝達し、安全な走行を確保。将来の完全無人運転に向け、札幌市内に設置した遠隔監視拠点でも道路情報を的確に把握し、事前に走行の安全性を確認するようにした。

今回は3種類の遠隔監視システムを活用し、自動運転バスの走行位置や車速を監視したほか、3次元地図上で走行状況の可視化による走行ルート指示や車載カメラによる車内外のモニタリングも行った。

自動運転から手動運転への切り替えや車線変更については、路側機で検知した情報をクラウド基盤で判断し、その結果を自動運転バス側に送る仕組みを導入し、スムーズに実行できるようにした。

今回の実証では、定量評価の一つとしてカメラやライダーのデータを活用した自動運転率の目標を80%以上に定めた。実際には90%を記録し、センサー情報を活用しない場合に比べ20%向上するなど一定の成果が表れた。

全国と同様に千歳市も高齢化によ

ら検知・分析した道路状況を基に、安全走行情報を自動運転バスに連携することで豪雪地域での自動運転の実現を目指した。

道路灯や電柱に設置したカメラやライダーで道路の積雪状態を監視し、自動運転車両の安全な走行の可否を判断。カメラやライダーが取得した大容量データは、「IOWN APN(アイオン・オールフォトニクスネットワーク)」や高度「WiGig(ワイギグ)」など次世代通信システムによりクラウド基盤に送った後、自動運転バスが安全に走行できるかを判断するための情報に加工・処理した。

自動運転バスには走行可能なルート情報を伝達し、安全な走行を確保。将来の完全無人運転に向け、札幌市内に設置した遠隔監視拠点でも道路情報を的確に把握し、事前に走行の安全性を確認するようにした。

今回は3種類の遠隔監視システムを活用し、自動運転バスの走行位置や車速を監視したほか、3次元地図上で走行状況の可視化による走行ルート指示や車載カメラによる車内外のモニタリングも行った。

自動運転から手動運転への切り替えや車線変更については、路側機で検知した情報をクラウド基盤で判断し、その結果を自動運転バス側に送る仕組みを導入し、スムーズに実行できるようにした。

今回の実証では、定量評価の一つとしてカメラやライダーのデータを活用した自動運転率の目標を80%以上に定めた。実際には90%を記録し、センサー情報を活用しない場合に比べ20%向上するなど一定の成果が表れた。

全国と同様に千歳市も高齢化によ

るバス運転手不足という課題を抱えている。一方で新千歳空港や公立千歳科学技術大学が立地し、半導体工場建設や新工業団地造成が進むなど今後バス利用者は増加する見通し。自動運転バスの早期の社会実装が求められているが、豪雪・寒冷地のため交通に深刻な影響を及ぼすことも想定される。このような背景から、降雪・積雪環境下でも運行可能な自動運転バスに必要な技術の検証に至った。

1月22日のメディア向け取材会では、千歳市役所とJR千歳駅間の約2.7キロの周回コースを設定し、横田隆一市長をはじめ関係機関の代表者が試乗した。

横田市長は「(千歳市は)次世代半導体工場の立地という大きな転機を迎えている。これからの街づくりにおいて、新しい発想のもと、テクノロジーでこの街を変えて、市民生活を豊かにするビジョンを持っている。実証実験を通じて実現できるように期待している」とあいさつ。実証実験全体の管理などを担ったNTTドコモビジネスの工藤晶子副社長は「しっかりと社会実装され、市民の方々が安全に、安心して移動できるサービスの提供に向けて、引き続き千歳市と一緒に取り組む」と述べた。

今後は、寒冷地での自動運転バスの運行に必要な技術的課題を抽出・検証し、安定走行モデルの確立を目指す。知見は道内や全国の豪雪地帯での自動運転バスの社会実装にも生かす考えだ。



札幌市内での遠隔監視の様子

## 全国ハイヤー・タクシー連合会、タクシーへの軽自動車活用検討を本格化

全国ハイヤー・タクシー連合会(川鍋一朗会長)は、タクシー事業における軽自動車の活用を本格的な検討に入った。第一交通産業グループの田中亮一社長を委員長とする「タクシー事業における軽自動車の活用小委員会」を立ち上げ、検討会を開催した。

タクシー事業では、電気自動車(EV)および福祉輸送事業限定の場合に限り、軽の使用が認められている。また、業界では慢性的な人手不足に対応するため、女性ドライバーの雇用を推進する動きが加速している。軽ユーザーの6割以上は女性と言われており、使い慣れた軽をタクシーに導入しやすくすることで、人材確保につなげたい要望が連合会に寄せられていた。

さらに、地方の事業者では、コストがかかる登録車の導入にハードルがあるほか、タクシー専用車の燃料に広く使われている液化石油ガス(LPG)の充てんスタンドが減っていることも軽の導入を求める一因となっていた。

田中委員長は「軽の運賃に関しては、普通車と同様にしなければならぬ」と指摘しており、軽の導入による料金体系も論点になるとみられる。

今後は全国の協会にアンケートを実施し、地域ごとのニーズを確認する作業も行う計画だ。

## 毎月15日は 道民交通安全の日

厄除けに川崎大師平間寺(へいけんじ)を訪れた。この日は安産に縁起が良いとされる「戌の日」で、暦は「大安」。大本堂は身動きが取れないほどの参拝者で埋め尽くされていた。

祈禱前に説法を聞いた。寺では参拝の際、静かに手を合わせて合掌する。一方、神社では「二礼・二拍手・一礼」。仏教では心を落ち着けることが重んじられ、神社では拍手で神に存在を知らせるとされている。

さらに興味深い話があった。合掌すると、重ねた手のひらの内側に「わすかなすき間」ができ、その中に「仏」が宿るといふ。「二拍手」をすると仏を傷つけてしまうため、寺では静かに合掌するのがよいのだそうだ。

厄除けに川崎大師平間寺(へいけんじ)を訪れた。この日は安産に縁起が良いとされる「戌の日」で、暦は「大安」。大本堂は身動きが取れないほどの参拝者で埋め尽くされていた。

祈禱前に説法を聞いた。寺では参拝の際、静かに手を合わせて合掌する。一方、神社では「二礼・二拍手・一礼」。仏教では心を落ち着けることが重んじられ、神社では拍手で神に存在を知らせるとされている。

さらに興味深い話があった。合掌すると、重ねた手のひらの内側に「わすかなすき間」ができ、その中に「仏」が宿るといふ。「二拍手」をすると仏を傷つけてしまうため、寺では静かに合掌するのがよいのだそうだ。

**「しんらい」と「あんしん」をお届けします。**  
北自共の総合自動車共済・自賠償共済

**全道に安心のサービス拠点**

**示談交渉サービス**  
相手方との示談交渉や書類作成など一貫して対応

**充実のロードサービス**  
24時間365日対応・等級に影響なし

**顧問弁護士**  
訴訟対応への協力体制で事故解決へ

旭川 北見 札幌 釧路 帯広 室蘭 函館

あんしん・ゆとり・たすけあい みなさまのカーライフをサポートします!!  
**北海道自動車共済協同組合**  
〒065-0030 札幌市東区北30条東1丁目3-2

**011-721-5233** FAX:011-721-0801  
電話の受付時間 平日 9:00~17:15 <https://www.hokujikyo.jp>

新しい技術と信用のトップメーカー

**自動車ナンバープレート**

**小松自動車工業株式会社**

札幌営業所 札幌市東区北30条東1丁目1-1  
及工場 〒065-0030 電話 011-752-8592(代表)

本社 東京都品川区東品川4丁目8番12号  
及工場 〒140-0002 電話 03-3474-0211(大代表)

# 帯広



## 令和7年度優良運転者等表彰式を開催

### 帯広地方自家用自動車協会

帯広地方自家用自動車協会(徳井裕昭会長)と帯広地区安全運転管理者協会(澤田智治会長)は、帯広市内のホテルで「令和7年度優良運転者等表彰式(伝達式)」を開催した。交通安全に尽力した優良運転者や優良安全運転管理者らを表彰した。写真。

2月10日の式典では、徳井会長が「長きにわたり無事故無違反を続け、皆さまを表彰できることは当協会にとって喜ばしい限りだ。交通事故を一件でも減らすよう本年も引き続き安全運転に徹してほしい」とあいさつした。

表彰式では、帯広地方自家用自動車協会関係の優良運転者(永年無事故無違反)を表彰した。伝達式では、帯広地区安全運転管理者協会関係の優良安全運転管理事業所や優良安全運転管理者らを表彰した。



受章者代表謝辞では、全日本交通安全協会会長表彰交通栄誉章「緑十字銅章」を受章した東光舗道の牧村裕さんが「今後も安全運転に専念し、交通事故防止に努力するとともに、歩行者保護意識の醸成などに最大限努力することを誓う」と決意を述べた。

受賞者は以下の通り

〈優良運転者表彰〉

▽全国自家用自動車協会会長表彰

【無事故無違反20年以上】

廣瀬翔太(松島 高橋秀美(桐谷建設工業) 高砂裕行(同) 小川虎士(宮坂建設工業) 今多克徳(川田工業) 田中睦美(同) 辻丸泰正(森組) 佐藤如枝(西江建設) 中橋直宏(北海道道路整備 須藤昌彦(芽室町農業協同組合) 木村勝博(同) 岩淵智行(同) 吉田裕樹(中島自工) 紺野浩(藤原工業 島清次(同) 山野亨(同) 佐藤路夫(東北海道日野自動車) 榮前田幸一(芽室自動車学校) 増田悦宏(同) 荒井秀典(同) 加賀谷宏(同) 大久保雅透(土谷特殊農機製作所)

▽北海道自家用自動車協会連合会長表彰

【無事故無違反15年以上】

伊藤康裕(松島) 大井亜紀子(桐谷建設工業) 関田啓貴(北協石油) 吉田富枝(遊佐組) 高橋裕一(徳井建設工業) 土田拓治(同) 相澤修一(川田工業) 佐々木義則(同) 酒井啓之(同) 竹田美砂子(同) 鈴木真基子(芽室町農業協同組合) 服部昭

交通安全に貢献する自動車共済!!

北海道自動車共済

協同組合帯広支部

☎0155-331-3400



久(同) 高城正憲(相互電業) 三戸大樹(同) 右近一(ネクサス) 真野勇(中島自工) 吉田誠(同) 廣田寿洋(藤原工業) 西美己(トヨタモビリティ) 原秀樹(同) 朝倉佑介(同) 橋本恭兵(同) 森上直俊(厚生協会) 鈴木忠(川岸電設) 川瀬昭徳(同)

▽帯広地方自家用自動車協会会長表彰

【無事故無違反10年以上】

清野伸行(徳井建設工業) 高橋篤男(川田工業) 阿部裕光(同) 高橋昌伸(同) 笹本栄作(同) 野村秀夫(西江建設) 小野田一志(同) 山中美樹(芽室町農業協同組合) 板倉利幸(相互電業) 高嶋敏行(同) 永田淳(同) 佐藤修一(東北海道ヤナセ) 佐藤茂(ネクサス) 鈴木隆行(同) 橋本賢(同) 加藤達矢(藤原工業) 吉田敬浩(同) 黒川里奈(同) 西村健一(土谷特殊農機製作所) 山口裕也(同) 本田栄周(同) 川端聖太(同) 松浦龍(同) 稲垣道晴(トヨタモビリティ) 菅原祐輔(同) 河端恵介(同) 西浦渉(同)

「私が妻と出会ったのが1990年。当時、共に10代だった。大学の関係で離れてしまったところ、私は毎週、カセットテープで自分の好きな曲のミックステープを作り、郵送で彼女のもとへ送った。受け取った彼女と電話をしながら、一緒にテープを聞いた。そのカセットテープがTDKさん製だった」と語るのは、フォーミュラEのジェフ・ドゥズCEO。

TDKとフォーミュラEの協力をめぐり、2月17日に都内で開かれた発表会で思い出を語った。「嬉しいま、うちに来ていただくと、妻が戸棚にテープを全部保存している。テープの品質は今でも素晴らしい」

3月1日から企業が新卒採用に関する広報活動を開始した。本格的な就活シーズンの到来を前に札幌商工会議所が企業と大学生をつなぐ新たなイベントを札幌市内で開催した。◆学生がブースを回り企業から説明を受ける従来の形式とは逆で、企業がブースを訪問して学生のプレゼンテーションを聞くスタイルだ。大学生12人が参加し、幅広い業種の15社が集まった◆1回20分、前半10分は学生のプレゼン、後半10分は企業側の会社説明や質疑応答。相手を変えて計8回実施した。最後に参加者が面談相手と5段階評価した投票結果をもとにマッチングする◆取材して感じたのは学生のプレゼン力の高さだ。人工知能(AI)も活用して資料を作成したそうだが、皆が応募することなく採用のプロを相手に堂々と自己アピールしている。プレゼンの完成度もさることながら、企業の説明を聞く時は真剣なまなざしで熱心にメモを取る姿にも好感が持てた◆3年生以外に1年生も参加したが、このような自己分析や資料作成の経験はおそらく少ないはず。試行錯誤しながら自分の強みを明確に伝えるプロセスに挑んだと想像でき、企業担当者からも好評だった今回のイベント。従来の形式とどちらが良い悪いではなく、短時間でも相互理解が進むような最善の面談の形が望まれる。

小里大和(同) 石川智哉(同) 小林達弥(同) 安藤大介(同) 山崎美奈(同) 佐々木紀之(同) 出岡佳江(厚生協会) 内藤優太(川岸電設) 〈優良安全運転管理者表彰〉

▽北海道警察本部長・北海道安全運転管理者協会長連名表彰

武藤隆幸(昭栄電機) 齋藤勝弘(南十勝森林組合)

▽北海道警察釧路方面本部長・釧路方面安全運転管理者協会長連名表彰

交通安全功労者

鈴木英人(スコシヤ)

優良安全運転管理者

山下功(西岡建設) 川口進(東和工研) 山端清二(菱弘電設帯広営業所) 淡路一也(平田建設帯広支店) 佐藤信男(中島自工) 藤原優作(東洋) 高田宏史(熊野会計事務所) 佐藤佳邦(サトウ機工)

▽全日本交通安全協会会長表彰・交通安全「緑十字銅章」

秋田徹(拓北電業帯広支店) 牧村裕(東光舗道) 太田智(エルバ北海道) 池田欣央(池田塗装工事)

▽北海道安全運転管理者協会会長表彰

優良安全運転管理事業所

とがち広域消防事務組合 幕別消防署(安全運転管理者・大野曉彦) 道東産業運輸(同・佐竹孝幸)

優良安全運転管理者

後藤隆史(十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会) 赤坂佳典(赤坂組) 野呂陸将(日本ハウスホールディングス帯広支店) 西範彦(上士幌町農業協同組合)

### 【安全運転は運転経歴証明書から】

- ◎ 交通事故・違反防止に対する職場の連帯感が生まれます
- ◎ 交通事故処理等に費やす無駄な労力、保険料の減少も期待できます
- ◎ 必須アイテムとして多くの企業が安全運転管理に利用しています
- ◎ 1年以上無事故無違反者にはSDカードが交付されます

SDカードは定型優遇店が全国にあり割引制度等の特典があります  
詳しくはホームページをご覧ください  
(http://www.jsdc.or.jp)

申請方法 代表者が委任を受けて一括申請することが出来ます。申請手数料1通670円です。詳しくは、下記事務所にお問合せ下さい

**自動車安全運転センター北海道釧路方面事務所**  
〒085-0018 釧路市黒金町10丁目5の1  
北海道警察釧路方面本部1階 Tel.0154-25-7171

### 運転適性診断をご利用ください

～ 事故防止のために ～

自動車事故を防ぐには、まず運転に繋がるくせを知る事が大切です。そのために、ぜひ「適性診断」をご利用ください。カウンセリングやアドバイスをを行うものも用意しております。

診断の種類等

- ◆ 一般診断(診断のみ) : 2,400円 …… 所要時間 約60分
- ◆ カウンセリング付き一般診断 : 4,800円 …… 所要時間 約90分

★ 1日4回実施しており、予約制となっております。

《詳しくは》

**独立行政法人 自動車事故対策機構釧路支所**  
〒085-0018 釧路市黒金町7丁目4番地1 太平洋興発ビル2階  
電話 0154-32-7021へ ホームページ「ナスバ」で検索  
専用駐車場はありませんのでお車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。なお、駐車料金はお客様のご負担となりますのでご容赦下さい。

# 免許自主返納の想定年齢 移動手段への不安で高齢化

パーク24が  
調査

パーク24が、自動車ユーザーを対象に実施した調査によると、年齢層が上がるにつれて運転免許の自主返納の想定年齢が高まる実態が明らかになった。全体では「76〜80歳」とする回答が最も多かったが、60歳代以上になると、「81〜85歳」とした割合が32%、「86〜90歳」が9%とそれぞれ10ポイント、5ポイントほど他の年代と比べて高かった。同社は「返納の必要性は理解しつつも、自身の運転はまだ問題ないと感じ、将来的な課題として考えている層が一定数存在する」と指摘している。

2月9日に発表した調査は、自主返納の想定年齢について「50歳以下」を下限、「91歳以上」を上限に5歳刻みで回答を求めた。20歳代以下や30歳代の場合、75歳以下と回答した割合が5割を超えたが、40歳代以降は年齢に比例して返納想定も高齢化した。自らの技能に対する自信

# 軽油の暫定税率と環境性能割を廃止 政府が法案を閣議決定

政府は2月20日、新車取得時に徴収する環境性能割と、軽油引取税の暫定税率の年度内の廃止を盛り込んだ改正地方税法を閣議決定した。高市早苗首相は第2次内閣発足時の会見で「税制改正法案や予算案については、国民の安全と強い経済構築の観点から野党にも協力を呼び掛けている」として、年度内成立に意欲を示していた。ただ、参議院では少数野党の状況が続いていることもあり、審議には一定の時間がかかりそうだ。

仮に年度内に成立しなければ、デューゼル車などの給油において、4月以降も法案成立までは暫定税率を払わなければならない。特例として

# 都市交通政策に関する中間とりまとめ 移動が活発な都市を創造

国交省

国土交通省は、機能性が高く、市民の移動が活発な都市を創造するための「都市交通施策」を取りまとめる。公共交通機関の廃止や若年層の移動機会の減少といった現状を踏まえ、パーソナルモビリティや自動運転車の活用の方を議論していく。今年6月にも中間とりまとめを公表する方針だ。

市街地の交通政策における課題として、移動手段である交通機関の減少が挙げられる。2008年以降、路線バスは約2万3193キロメートル



通達などで暫定税率や環境性能割徴収を免除することはできない。税金関連の措置は、国民の代表である国会が審議・決定した法律によってなされなければならないという「租税法律主義」があるためだ。

バス・トラック業界での混乱は必至だ。法案成立後に徴収してしまっただけで暫定税率分を還付するにしても、給油済みのユーザーを特定するのは膨大な手間がかかる。環境性能割も、年度内に廃止されない場合、自動車販売店で混乱が起きそうだ。販売店は環境性能割の廃止を見込んで、4月の販売促進計画を立てている。ただ、暫定税率の廃止については、25年10月に、自民党、立憲民主

党、日本維新の会、国民民主党、公明党、共産党の6党が合意した経緯から、野党が反対する根拠に乏しい。環境性能割についても、自民と国民民主党の合意で恒久廃止が決まったことから、国民民主党の協力的な姿勢が予想される。玉木雄一郎代表も2月17日の会見で、「年度内に廃止にならないと、いろいろな経済・事業活動にも悪影響が生じる。年度内に成立させるべきだと思う」として、日程案を見極める方針を示している。

UDトラックス道東(金尾泰明社長は、北海道立帯広高等技術専門学校(瀧澤博文学院長)に大型車「クオン」を寄贈した。教材車として役立ててもらうほか、講師の派遣や工具の提供などでも支援する。

1月29日に同学院で実施した寄贈式では、金尾社長が「寄贈する大型車は日本のトラックの中でも最先端だと自負している。どんな乗用車に近づいており、皆さんの実践的な学びに最適と考えている。たくさん触り、学びを深めて一流の整備士になっていただきたい。われわれもお手伝いできるように講師の派遣などでサポートしていく」とあいさつした。

瀧澤学院長は「学生に対する期待の言葉をいただき、ありがたく思っている。講師の派遣や工具の提供などで協力いただけるということ、これからは地域に優秀な人材を輩出していく」と謝辞を述べた。引き続き、金尾社長が瀧澤学院長に目録を手渡した。

今回寄贈したクオンはエアサスペンション仕様で、オートマチックトランスミッション「エスコットV(ファイブ)」やディスクブレーキを搭載する。

同学院の自動車整備科には2年生13人、1年生15人が在籍している。

**DANCHI**  
Oshiro Dalchi Driving School

免許とるなら  
やっぱり「第一」だね!

**帯広第一自動車学校**

北海道道路方面公安委員会指定 〒080-0832 帯広市稲田町東1線12番地

お申し込み  
お問い合わせ **0120-48-4611**

フリーダイヤル

免許は「第一」におまかせ!

都市空間の創出に向け議論を進める。

市民の活動量を増やすため、土地の開発と利用の自由度の高いモビリティなどを連動させ、提供していくことなどを検討する。施設の利用頻度、時間などを考慮した公共交通機関のダイヤ設定、バスや路面電車の発着場の明確化、自家用車の駐車場の適正配置などを議論していく。

また、公共交通や多様なシェアモビリティを結節する「モビリティ・ハブ」も導入し、カーシェアや電動キックボードといった次世代モビリティも利用しやすい環境を整える。自動運転車の導入に関しては、「都市交通」「街路空間」「駅前広場」「身近なエリア」の4ケースであり方を検討していく。

今後、ワーキンググループを設けて個々の課題などを洗い出し、6月にも中間とりまとめを行う。

**JAF**  
FEDERATION JAPAN AUTOMOBILE

困ったときは、**JAF**におまかせ!!

お近くのJAF直通電話は **#8139** (有料)

クルマの路上トラブルなど、困ったときは、全国ネット年中24時間体制のJAFにお任せください。

会員証は必ず携帯してください。提示がなければ、会員としての特典がご利用できません。

お申込は、自動車ディーラーJAF指定工場・JAF取扱店又は支部窓口へ

一般社団法人 **日本自動車連盟(JAF)帯広支部**

〒080-0038 帯広市西8条北1丁目14-1

☎(0155)26-8139 ・ 26-0260  
(ロードサービス専用) (会員総務専用)